

INSTALLATION AGE

インスタレーション・エイジ

空間と視覚



Yoko Takahashi



Wenyon & Gamble



Takemi Nishimoto



Peter Callas



Itaru Kato



Council

■ 出品作家 ■ ピーター・カラス
高橋 洋子
加藤 到
西本 剛己
Council
ウェニヨン & ギャンブル

■ ワークショップ ■ 〈空間・映像・視覚を遊ぶ〉
● プログラムA 6月7日/14日
講師: 山口 勝弘
● プログラムB 6月6日/13日
講師: 松蔭 浩之

※6月13日/14日は、どなたでも見学できます。

会 期: 1992年6月11日(木) - 6月23日(火)
開催時間: 午前10時 - 午後6時(最終入館5時30分)
入 場 料: 無料

東京都写真美術館

〒150 東京都渋谷区恵比寿4-19-24
☎ 03-3280-0031 テレフォンサービス 03-3280-0099

INSTALLATION AGE

—映像工夫館シミュレーション—

本展覧会は、東京都写真美術館の総合開館(平成6年度予定)時に併設される「映像工夫館」の予告展として開催します。

第1回目は映像工夫館で取り扱う分野や作品内容の紹介、第2回目は「視覚への欲求」によって生まれたさまざまな分野の視覚作品を展示しました。第3回にあたる今回は、映像分野をとりまく多彩な要素の中でも特に空間的な表現に焦点をあてます。

過去において、人々は幻灯機やのぞき絵などを用いて映像的な環境を作りだしました。現在では、作品の置かれた空間全体をも作品であるとする展示方法(インスタレーション)が美術の分野でひんぱんに用いられています。映像分野にもこの方法で展示される作品があります。彫刻の一部にモニターを使うものから仮想現実(ヴァーチャル・リアリティ)まで、実にさまざまな作品群が違和感なく共存しています。しかし、空間的な映像展示の意味について、深く考えることのないまま一般に受け入れられているとも言えます。

今回は6人の作家による(映像インスタレーション)展示を行います。(映像インスタレーション)というとTVモニターを並べた作品ばかりを連想しがちですが、今回はそれだけでなく光のバターンを用いる作品やワークショップ的な展開を持つ作品、コンピュータを用いた作品を展示してひとつの映像空間をつくり出します。

ワークショップのお知らせ

※申し込み制

〈空間・映像・視覚を遊ぶ〉

ビデオ・インスタレーションの先駆者であり現在も幅広く活躍中の山口勝弘氏と、前衛的な創作活動を繰り広げるコンプレッソ・プラスティコの松蔭浩之氏を講師に迎えて、映像空間の歴史や表現の可能性をそれぞれのプログラムで探ります。グループでの参加も歓迎します。

プログラムA

講 師: 山口勝弘(造形作家/ビデオ・アーティスト)

日 時: 6月7日(日) 10:30~16:00

6月14日(日) 13:00~16:00

プログラムB

講 師: 松蔭浩之(造形作家/コンプレッソ・プラスティコ)

日 時: 6月6日(土) 10:30~16:00

6月13日(土) 13:00~16:00

定 員: 各プログラム共25名

(2日とも参加できる高校生以上の方)

会 場: 東京都写真美術館

参加費: 無料(昼食持参)

申 込: 往復はがきに住所・氏名・年齢・職業・電話番号・希望プログラムを明記して当館にお送りください。なお申込多数の場合は抽選になります。

締 切: 5月23日(出)

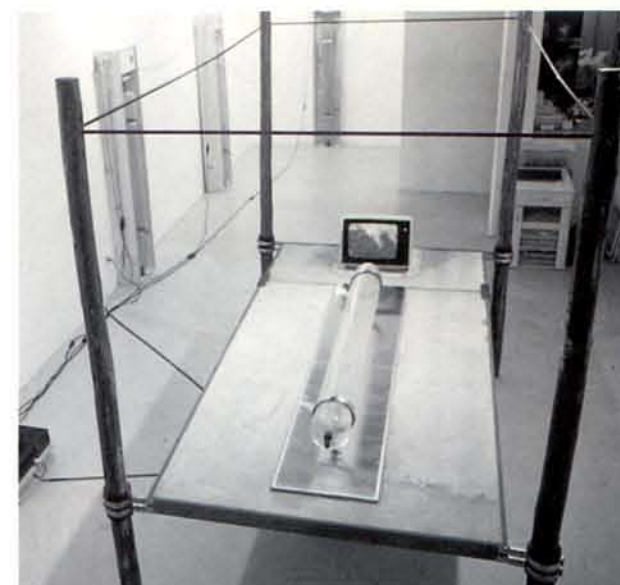
※6月13/14日は、どなたでも見学できます。

インスタレーション・エイジ
1992年 6月11日(木) - 6月23日(火)

主催: 東京都写真美術館

開催時間: 午前10時 - 午後6時(最終入場は5時30分まで) 入場無料

東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography



西本剛己/マルス(13793)



Council/"Who Are You?" 1991



加藤 到/3時に集まって



東京都写真美術館
所在地
〒150 東京都渋谷区恵比寿4-19-24
TEL 03 [3280] 0031(代)
テレフォンサービス
TEL 03 [3280] 0099
交通機関
JR・地下鉄恵比寿駅より徒歩5分
美術館専用の駐車場はございませんので、お車のご来館はご遠慮下さい。